

追突事故 交差点事故

—事故から学ぶ安全運転—

ドキュメント

追突事故 交差点事故

—事故から学ぶ安全運転—

■制作意図■

我々は、ある都市に24時間態勢で交通事故を取材し、多くの事故現場をカメラに収めた。今回の取材では、追突事故と交差点事故が多く発生。取材事故件数28件。その内、追突事故が10件、交差点事故が12件発生した。そこで、ここでは追突事故と交差点事故を取り上げ、どうして事故が起きたのか、事故を防ぐためにはどうしたら良いのかを検証、安全運転のポイントにCGを交え、分かりやすく解説した。

■主な事故事例と構成■

追突事故

- ★事故事例① トラック同士の事故(早朝)
- ★事故事例② 車両4台の玉突き事故(夕暮れ時)
- ★事故事例③ 車両3台の事故(夕暮れ時)

①は、車線変更をしようと、左後方の車両に気をとられ、前方の10tトラックが信号で停止したのに気付かず追突。前方不注意による事故である。②は、仕事のトラブルを抱えたまま車を運転。気が付いたときには追突していたと言う。漫然運転が招いた事故である。③は、路上駐車している車を追い越そうと、対向車の通過待ちをしていた車に、後方から走行してきた車が追突。動静不注視と「思い込み」による事故である。

- ★追突しないための安全運転のポイントとは・・・
- ★追突されないための安全運転のポイントとは・・・

交差点事故

- ★事故事例① 車同士の右直事故(6差路の交差点)
- ★事故事例② 出会い頭事故(夜間)・・・信号機の無い交差点
- ★事故事例③A 車と自転車の事故・T字路(夜間)・・・信号機の無い交差点
- ★事故事例③B 車と自転車の事故・T字路(夜間)・・・信号機の無い交差点

①は、信号の変わり目にスピードを上げ、無理に交差点を通過しようとした車と、青信号に変わり右折を開始した車が激突。②は、急いで帰宅しようと、一時停止標識を無視し、交差点に進入した車とタクシーによる事故。夜間は交通量が少なく、車は来ないだろうと言う思い込みが招いた事故である。③Aの事故は、脇道から優先道路を右折しようとしていたタクシーが、車の流れがなかなか途切れず、イライラし、車の切れ目目が出る。右側の安全確認を怠り発進、右側から来た自転車と衝突、タクシー運転手の心理要因が引き起こした事故である。③Bの事故は、優先道路を走行してきた車が、左の脇道から進入しようとする車に気をとられ、右側から斜め横断しようとした自転車と衝突。

★多発する夜間事故・・・安全運転のポイント

今回取り上げた、「追突事故」「交差点事故」とも、夕暮れ時、夜間に多く発生した。夜間は昼間と比べ情報が得にくく、より慎重な運転が求められる。

★交差点での安全運転のポイント

- 信号機の無い交差点では・・・出会い頭事故を防ぐためには
- 信号機のある交差点では・・・信号の変わり目の危険に注意
- 交差点右折時の注意点
- 交差点左折時の注意点

※字幕版を視聴される方は、メニュー画面より選択してください。

COLOR	21分	片面一層	MPEG2	複製不能	4:3	ALL Matrix	DD DOLBY DIGITAL
-------	-----	------	-------	------	-----	---------------	------------------------

